碧雲通信

発行日　令和７年７月９日
発行者　宍道高校通信制課程
松江市宍道町宍道1586
TEL 0852-66-7577・FAX 0852-66-7117
印刷所　㈲木次印刷

【碧雲通信名前の由来】たなびく雲の下にあお（碧）く輝く宍道湖を、江戸時代の文人・菅茶山は「碧雲湖」と名づけ、その美しさを称えました。これを新しい高校の通信誌名として拝借しました。

▶７・８月号の掲載内容

○教務部より
前期試験範囲と要点……（２）
○進路部より
令和８年度「大学入学共通テスト」
出願手続き説明会②について……（７）
令和８年度「指定校推薦」一覧　……（７）
○生徒部より
通信制課程ホームルーム活動（人権教育）……（７）
○事務室より
「就学支援金」等の申請について　……（８）
８月18日(月)から各種書類の申請方法が変わります…（８）
○編集後記……（８）

ホームページ https：//www.shinji-h.ed.jp

教務部より

前期試験範囲と要点

国　語

講座名	現代の国語（前半）	言語文化（前半）	文学国語（前半）	古典探究（前半）
担当者	※本誌にて確認ください			
教科書範囲	「こそそめスープ」 「未来をつくる想像力」 「水の東西」	「さくらさくらさくら」 「『美しい』ということ」 「古文学習のしらべ１・２」 『徒然草』「亀山殿の御池に」 『徒然草』「奥山に、猫またといふものありて」 『羅生門』	「調律師のるみ子さん」 「デューク」 「生命は」 「そこにひとつの席が」 「真珠の耳飾りの少女」 「鼻」 「バグダッドの靴磨き」 のうち、複数の教材から出題	『古今著聞集』「小式部内侍が大江山の歌の事」 『竹取物語』「火鼠の皮衣」 故事・寓話「画竜点睛」「朝三暮四」 「古典の常識あれこれ」 『枕草子』「すさまじきもの」「雪のいと高う降りたるを」 三国志の世界「水魚之交」「死諸葛走生仲達」 『方丈記』「ゆく川の流れ」「安元の大火」 諸家の思想「民父母」「柔弱」「胡蝶之夢」 …の内、複数の作品から出題します。
レポート範囲	第１回～第２回 ※第３回からは出題しません。	第１回～第３回 ※第３回の短歌、俳句からは出題しません。	第１回～第６回のうちから、出題します。	第１回～第６回のうちから、出題します。
学習の要点	○教科書本文をくりかえし読み、１回は音読をしておくとよいでしょう。 ○漢字の読み書きも含めて、レポートの内容を中心に出題します。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。 ○GoogleClassroomで配信している資料も活用してください。	○教科書本文をくりかえし読み、１回は音読をしておくとよいでしょう。 ○レポートの内容を中心に出題します。ただし、問題の形式を変える場合もあります。 ○現代文：漢字の正しい形や読み方、語句の意味、作者の考え方や登場人物の気持ち、短歌俳句の内容などを適切に説明できるよう復習してください。 ○古文：古語の読み方や歴史的仮名遣い、現代語訳、和歌の内容等を正しく答えられるよう復習してください。 ○漢文：書き下し文、訓点のルール、現代語訳、内容等について説明できるように復習してください。	○教科書本文をくりかえし読み、１回は音読をしておくとよいでしょう。 ○漢字の読み書きも含めて、レポートの内容を中心に出題します。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。	○レポートの内容を中心に出題します。ただし、問題の形式を変える場合もあります。 ○古文→かなづかいや古語の読み方、現代語訳のしかた等について正しく答えられるよう復習しましょう。 ○漢文→書き下し文のきまりや書き方、訓点の付け方、現代語訳や内容について正しく答えられるよう復習しておきましょう。

地　歴

講座名	地理総合（前半）	地理探究（前半）	歴史総合（前半）	日本史探究（前半）	世界史探究（前半）
担当者	※本誌にて確認ください				
教科書範囲	教科書　P５～119 学習書　P14～175 ※地図帳　レポートに対応するページ	教科書　P６～165 学習書　P10～92 ※地図帳　レポートに対応するページ	教科書　P７～111 学習書　P10～113	教科書　P８～165 学習書　P８～99	教科書　P７～185 学習書　P８～73
レポート範囲	第１回～第３回	第１回～第６回	第１回～第３回	第１回～第６回	第１回～第６回
学習の要点	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりしておきましょう。 ◎用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかり覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりくみ取って解答してください。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりしておきましょう。 ◎用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかり覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりくみ取って解答してください。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりしておきましょう。 ◎時代の流れをつかむことが大切です。事件の起きるきっかけや政策転換の理由など、時代の背景をしっかり覚えておきましょう。 ○全てが漢字指定です。教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名はフルネーム、事件名も省略せずに書きましょう。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりしておきましょう。 ◎時代の流れをつかむことが大切です。事件の起きるきっかけや政策転換の理由など、時代の背景をしっかり覚えておきましょう。 ○全てが漢字指定です。教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名はフルネーム、事件名も省略せずに書きましょう。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりしておきましょう。 ○それぞれの地域の歴史や時代の特徴について、基本的な事項を整理して確認しておきましょう。 ○地図で基本的な都市名・国名の位置は確認しておきましょう。 ○教科書に掲載されている資料や図版・写真などもよく見ておくこと。 ☆解答する上での注意事項 教科書において漢字で表記されているものは、必ず漢字で答えてください。

公　民

講座名	公共（前半）	倫理（前半）	政治・経済（前半）
担当者	※本誌にて確認ください		
教科書範囲	教科書　P６～109 学習書　P８～94	教科書　P10～74 P157～194 P208～212 学習書　P８～65 P126～135	教科書　P６～118 学習書　P８～77
レポート範囲	第１回～第３回	第１回～第３回	第１回～第３回
学習の要点	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりしておきましょう。 ◎用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかり覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名、解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりくみ取って解答してください。	☆出題内容について ○主にレポートの内容から出題します。第１回～第３回までのレポートをしっかり見直して、復習をしておきましょう。（教科書の図や写真も） ○教科書で太字になっている重要語句を中心に、その語句の意味を言葉でまとめ、答えられるようにしておきましょう。意見記述の問いもあります。 ○教科書や学習書に漢字で書かれているものについては、必ず漢字で書けるように練習してください。	☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりしておきましょう。 ◎用語の正確な理解が大切です。関連性や文章内での適切な使い方をしっかり覚えておきましょう。 ○漢字は判読ができればよいですが、教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。 ○人物名、解答すべき用語は、文章の意味や問われている条件をしっかりくみ取って解答してください。

数　学

講座名	数学Ⅰ（前半）	数学Ⅱ（前半）	数学Ａ（前半）	数学入門（前半）
担当者	※本誌にて確認ください			
教科書範囲	教科書　P32～72 １．数と式 教科書　P150～153 ５．集合	教科書　P４～63 １．方程式・式と証明 ２．図形と方程式	教科書　P４～38 １．場合の数 ２．確率 教科書　P92～97 ３．はかる	教科書　P８～89 １．整数 ２．正の数・負の数 ３．小数　　４．分数 ５．計算の利用　６．文字式 ７．指数法則 ８．乗法公式
レポート範囲	（前半）第１回～第３回	（前半）第１回～第６回	（前半）第１回～第３回	（前半）第１回～第３回
学習の要点	**レポートの問題を中心に出題** レポートの問題をもう一度解き直しましょう。特によく間違える問題はくり返し解いて、確認をしておきましょう。 **数と式** 指数法則を用いた**累乗計算**や分配法則や公式を使った**展開・因数分解**について、公式を使う計算ができるようにしましょう。 根号を含む式の計算では、ルートの中はできるだけ小さい自然数にすること、かけ算のルールなど基本事項を必ず確認しておきましょう。**分母の有理化**は要注意です。約分ができる場合は必ず約分をしてください。 **不等式を解く**ときには、不等号の向きが変わるとき（両辺を負の数で割るとき）に注意しましょう。 **２次方程式**は因数分解・**解の公式**の両方のやり方を確認しておきましょう。 **集合**については、用語と記号をベン図とともに覚えておきましょう。 **途中の計算や考え方をしっかりと書きましょう。**答のみの場合は減点になる場合もあります。 **定規の使用を認めます。**	**方程式・式と証明** ２次方程式の**解の公式**と**判別式**を用いる問題は出題します。また、乗法公式・因数分解の公式、虚数単位ｉを含む計算、解と係数の関係、整式の割り算は様々な問題で用いられるので、正確に解けるように練習しましょう。 **図形と方程式** **内分点・外分点**の座標を求め、正確に図示しましょう。 図形と方程式の問題では、与えられた情報を図にまとめながら勉強しましょう。点の座標や直線の傾き、共有点の個数などを図で確認することができます。また、**方程式の表す直線や円、不等式の表す領域**を正しく図示ができるようにしておきましょう。 ※解答には**計算過程**を丁寧に書きましょう。また、**コンパス・定規の使用を認めます。**自分で準備しておいてください。学校からの貸し出しはありません。	**レポートの問題を中心に出題** レポートの問題をもう一度解き直してみましょう。特によく間違える問題はくり返し解いて、必ず確認しておきましょう。 **場合の数** 和集合の要素個数計算ｎ（Ａ∪Ｂ）＝ｎ（Ａ）＋ｎ（Ｂ）－ｎ（Ａ∩Ｂ）、順列と組合せの基礎計算、ｎＰｒ、ｎＣｒや重複順列・円順列、積の法則など系統立てて整理しておこう。 **確率** 余事象、独立な試行、反復試行の確率、条件付き確率など基本例題の再確認をしよう。期待値についてその意味と求め方を押さえておこう。 場合の数や確率の計算においては、計算式がどんな意味を持つのかを**説明する**必要があります。説明不足、式や計算だけ、答えのみの各場合は減点の対象となる場合があります。 教科書、レポート、**学習書でしっかりとドリル**しましょう。計算練習を積んでおくことはとても大切です。**定規の使用を認めます。**	**レポートの問題を中心に出題** レポートの問題を繰り返し練習することが最善策です。よく間違える計算は何回も確認しておきましょう。語句も出題します。 **整数／分数／正の数・負の数** **「計算の優先順位」**を確認しながら計算練習をしましょう。 分数の答は**既約分数**で答えます。また、たし算・ひき算は**通分**をしてから計算しましょう。 正の数・負の数は符号「＋、－」の扱いに注意。 **割合**の意味を押さえ、文章を数式化できるようにしておきましょう。**速さと時間、距離**の関係も適切に用いましょう。 **文字式／式の計算** **指数法則**を用いた累乗計算、**分配法則と公式**を用いた式の**展開**は必ず出題します。 ※解答には**計算過程**を丁寧に書きましょう。**答のみは減点**になる場合があります。

理　科

講座名	科学と人間生活（前半）	物理基礎（前半）	化学基礎（前半）	生物基礎（前半）
担当者	※本誌にて確認ください			
教科書範囲	P66～93、 P138～157	P10～91	P12～27 P36～45 P48～69 P72～73	P10～21 P24～35 P42～55 P58～69
レポート範囲	第１回～第３回	第１回～第３回	第１回～第３回	第１回～第３回
学習の要点	レポートの内容を中心に出題します。復習して理解をしておきましょう。問の形式、数値などは変えます。 計算問題も出題します。計算式は途中の式もきちんと書いて答えられるようにしておきましょう。単位も間違えないように気を付けましょう。 電卓の使用は不可です。	レポートの内容を中心に出題しますので、復習して理解をしておきましょう。問の形式、数値などは変えます。 数値計算を要する問題も出題します。使う公式・計算式など最後の答えまでの過程もきちんと書けるようにしておきましょう。単位をつけることも忘れないように。 電卓の使用は不可です。	レポートの内容を中心に出題します。レポートの復習をしておきましょう。問の形式、数値などは変えます。 次の事項について、理解しているかどうかを確認しながら、学習するとよいでしょう。 □純物質と混合物の分類 □単体と化合物の分類 □物質の三態 □原子の構造 □電子配置と元素の性質 □化学結合（３種） □組成式 □電子式と構造式 □結晶の性質（４種）	レポートの内容を中心に出題します。レポートの復習をしておきましょう。問の形式、数値などは変えます。 次の事項について、理解しているかどうかを確認しながら、学習するとよいでしょう。 □生物の多様性と共通性 □真核細胞と原核細胞の構造 □ＡＴＰ □酵素の働き □呼吸と光合成のしくみ □ＤＮＡの構造 □ＤＮＡの複製と分配 □タンパク質の合成

保健体育

講座名	体育１～５（前半）	保健（前半）
担当者	※本誌にて確認ください	
教科書範囲	筆記試験はありません。実技試験のみ行います。 ただし、受験するには、各講座（体育１～５）のレポートの第１回が合格していなければいけません。	教科書　Ｐ６～74 P130～保健編・用語解説（試験範囲の用語について） 学習書　Ｐ８～53
レポート範囲	前期に選択（申請）した種目の実技試験を行います。 体育１～５を併修（２講座受講）している人は、それぞれの講座（科目）ごとに試験を受けます。	○第１回～第３回
学習の要点	○それぞれが選択した種目で、基本的な技術の実技試験を行います。グランドゴルフの試験は、雨天の場合、体育館前の駐車場で実施します。 ○受験する際の服装は、許可されたものに限ります。違反した場合の受験は認めません。 ※実技試験当日 選択した種目の活動場所に集合してください。	○主にレポートの内容に沿って出題しますが、出題の形式は変わる場合があります。 レポートの内容は、教科書が中心ですが、一部学習書も関わっていますので、よく読んで理解しておきましょう。

芸　術

講座名	音楽Ⅰ（前半）	音楽Ⅱ（前半）
担当者	※本誌にて確認ください	
教科書範囲	＜課題曲＞ 教科書 P28「野ばら」シューベルト作曲 P31「野ばら」 ヴェルナー作曲 ・どちらか１曲選んでください。	＜課題曲＞ 教科書　P20、21 四季の歌「さくらさくら」「我は海の子」「里の秋」「たき火」から１曲選んでください。
レポート範囲	レポート第１回～第２回 ・実技試験のみです。	レポート第２回～第３回 ・実技試験のみです。
学習の要点	・上記の「野ばら」のどちらかを選んでください。 ・歌唱でも器楽演奏でもどちらでも構いません。歌唱の場合は原語（ドイツ語）です。 ・間違えないかどうかを見る試験ではありません。 ※レポートの最終ページを必ず記入して持ってきて下さい。その用紙がなければ受験出来ません。 **・試験時間の予約の方法等は別紙で連絡しますので、必ず確認してください。**	・上記から１曲選んでください。 ・歌唱でも器楽演奏でもどちらでも構いません。 ・間違えないかどうかをみる試験ではありません。 ※レポートの最終ページを必ず記入して持ってきて下さい。その用紙がなければ受験出来ません。 **・試験時間の予約の方法等は別紙で連絡しますので、必ず確認してください。**

芸　術

講座名	美術Ⅰ（前半）	美術Ⅱ（前半）	書道Ⅰ（前半）	書道Ⅱ（前半）
担当者	※本誌にて確認ください			
教科書範囲	レポート第１回から第３回で扱ったページ	レポート第１回から第３回で扱ったページ	レポート第１回～第３回で扱ったページ 古典作品・教科書　P20～31	レポート第１回～第３回で扱ったページ 古典作品・教科書 P８～９ P24～25 P32～33 P40～41
レポート範囲	レポート第１回～第３回	レポート第１回～第３回	レポート第１回～第３回	レポート第１回～第３回
学習の要点	・スクーリングで配られたワークシートやレポートで学習した内容、特に（　　）に記入したポイントなどを確認しておきましょう。 **・実技がありますので、鉛筆Ｂ～４Ｂ（よく削ったもの）と消しゴムを持ってくること。** ・スクーリングでの体験や自分の美術に関する体験についての出題があります。	・スクーリングで配られたワークシートやレポートで学習した内容､特に（　　）に記入したポイントなどを確認しておきましょう。 **・実技がありますので、鉛筆Ｂ～４Ｂ（よく削ったもの）と消しゴムを持ってくること。** ・スクーリングでの体験や自分の美術に関する体験についての出題があります。	・筆記試験のみです。 ・レポートで学習した内容（用語、書体とその特徴等）をしっかり見直しましょう。教科書の古典作品も良く観察しておきましょう。 ・最後に作文があります。	・筆記試験のみです。 ・レポートで学習した内容（篆書・隷書・草書・行書、篆刻、書道史等）をしっかり見直しましょう。教科書の古典作品も良く観察しておきましょう。 ・最後に作文があります。

外国語

講座名	英語コミュニケーションⅠ（前半）	英語コミュニケーションⅡ（前半）	論理・表現Ⅰ（前半）	英語入門（前半）
担当者	※本誌にて確認ください			
教科書範囲	Warm-Up 1 ～ Lesson 6	Lesson 1 ～ Lesson 5 Reading 1	Unit 1 Lesson 1 ～ Lesson 6 ちがいがわかる伝わる英文法 01/02/03/09/10	Part 1 ～ Part 8
レポート範囲	第１回～第６回	第１回～第６回	第１回～第３回	第１回～第３回
学習の要点	○各レッスンの本文を読み（できるだけ音読をすすめます）、話の概要をつかんでおく。 ○各レッスンの本文に出てくる単語や熟語、英語表現を整理し、覚えておく。 ○教科書と学習書の Target のページ、またスクーリングで配布したプリントを熟読して、各レッスンの文法事項をまとめ理解しておく。 ○レポートの内容を中心に出題します。レポートの各問いについてポイントを押さえつつ、すべて答えられるようにしておくこと。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。	○教科書や学習書を見直し、復習する。また各レッスンを音読して内容や英語表現（本文の次のページの Target にあるもの）を理解しておくこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、答えられるようにしておくこと。 ○各レッスンの単語や熟語を書けるようにしておくこと。 ○各レッスンの文法事項について教科書や学習書、授業で用いたプリントを利用して復習し、理解しておくこと。	○教科書やスクーリングで配布したプリントを復習して、英語表現や文法事項をまとめ理解しておく。 ○レポートだけでなく、教科書からも出題します。 ○レポートについては各問いについてポイントを押さえつつ、すべて答えられるようにしておくこと。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。	○各 Part の教科書の説明をよく読んで復習しておくこと。 ○スクーリングで配布したプリントを見直すこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、答えられるようにしておくこと。

家　庭

講座名	家庭総合（前半）	消費生活（前半）	保育基礎（前半）	生活と福祉（前半）
担当者	※本誌にて確認ください			
教科書範囲	教科書　P10～159	教科書　P１～71	教科書　P６～25 P28～50 P52～73	教科書　P８～89
レポート範囲	第１回～第４回	第１回～第３回	第１回～第３回	第１回～第３回
学習の要点	●第１章　生涯を見通す ●第２章　人生をつくる ●第３章　子どもと共に育つ ●第４章　超高齢社会を共に生きる ●第５章　共に生き、共に支える ●第６章　食生活をつくる 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●なぜ「消費生活」を学ぶのか（P１～２） ●社会を支える消費者（P３～19） ●消費者被害と消費者の権利・責任（P20～29） ●消費生活の安全と自由（P30～71） 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●子どもの保育（P６～25） ●子どもの発達（P28～50） ●子どもの生活（P52～73） 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●健康と生活（P８～27） ●少子高齢化の現状と高齢者の特徴（P28～51） ●高齢者の自立支援（P52～65） ●高齢者支援の法律と制度（P66～89） 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。

情　報

講座名	情報Ⅰ（前半）
担当者	※本誌にて確認ください
教科書範囲	P６～60
レポート範囲	第１回～第３回
学習の要点	１章　情報で問題を解決する ２章　情報を伝える 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変更する場合がありますので教科書をよく読み理解しておきましょう。

商　業

講座名	ビジネス基礎（前半）	簿記（前半）	情報処理（前半）
担当者	※本誌にて確認ください		
教科書範囲	P20～112	P８～91	P６～117
レポート範囲	第１回～第２回	第１回～第４回	第１回～第５回
学習の要点	１章　商業の学習とビジネス ２　私たちの社会とビジネス ２章　ビジネスとコミュニケーション ３章　経済と流通の基礎 ４章　さまざまなビジネス 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	●貸借対照表と損益計算書の作成 ●仕訳帳と総勘定元帳への転記問題 ●合計残高試算表の作成 ●精算表の作成 ●現金・当座預金・小口現金 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。 ※<u>電卓を使用しますので、必ず電卓を持ってくること！忘れないように！</u>	１章　企業活動と情報処理 ２章　コンピュータシステムと情報通信ネットワーク ３章　情報の集計と分析 １　表計算ソフトウェアの活用例 ２　統計の基礎 ※<u>通信の性能評価（伝送効率）の計算</u> 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。

進路部より

令和８年度「大学入学共通テスト」出願手続き説明会②について

令和８年１月17日（土）、18日（日）に実施される「大学入学共通テスト」の受験希望者に対して、説明会②を開催します。

受験希望の生徒は必ず参加してください。意思確認をし、出願方法等について説明します。時間厳守で集合してください。

日　時：８月28日（木：Ｔ２の日）　12：35 ～ 13：10
場　所：大講義室（３階）

令和８年度「指定校推薦」一覧

宍道高校に指定校推薦依頼が来ている学校一覧については、別刷りにして卒業予定生には送付しますので確認してください。また職員室前の廊下にも掲示しますので併せて確認してください。

推薦（指定校・公募制）については、校内締切日（第１回）を９月11日（木）としています。推薦制度による受験を希望する人は「志望理由書（400 ～ 500字）」を添えて「推薦願（進学）」提出する必要がありますので、遅くとも８月末までには担任の先生にその旨を申し出てください。（『進路のしおり』p.51 ～ 53を参照）

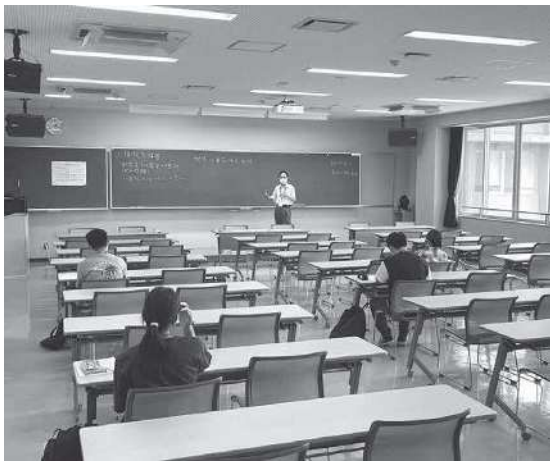
生徒部より

通信制課程ホームルーム活動（人権教育）

６月22日（日）、23日（月）に、人権教育講座を実施しました。「部落差別（同和問題）の歴史と現状」をテーマに、20名の生徒が参加しました。部落差別について学ぶことを通して、差別とはどういうものかについて考えました。

以下に、参加された生徒さんの感想文からの抜粋を２つ紹介します。

- 講座を聞きながら、差別する人たちはなんてひどいんだ、と思っていましたが、私が気づいていないだけで、偏見が自分の思考回路にあり、それが発言や態度に出ているかもしれないと改めました。偏見を完全になくすのは難しいかもしれませんが、相手と尊敬をもって対話することを忘れないようにしようと思いました。
- 差別はする人が悪い、差別される人には非が無いと分かり、自信を持って差別をしてはいけないと言えるようになったと思います。自分にも差別意識がないか気を配り、「おかしい」と思えるようになりたいです。



事務室より

「就学支援金」等の申請について

例年７月頃に郵送している「就学支援金等※」の申請書類について、今年も該当の保護者様宛てに郵送を予定しております。詳細については、追ってお送りする書類をご確認いただきますようお願いいたします。

なお、授業料以外の教育費負担を軽減する返済不要の「奨学のための給付金」の申請書類についても一緒に郵送いたします。

※就学支援金等:要件に該当すれば授業料の納付が不要となる支援金。「就学支援金」「臨時支援金」「学び直し支援金」「県単就学支援金」があり、該当する支援金は生徒によって異なる。

■問い合わせ先：島 根 県　学校企画課　TEL 0852-22-5915　平日９時～ 17時
宍道高校　事　務　室　TEL 0852-66-7577　平日９時～ 17時

８月18日（月）から各種書類の申請方法が変わります

これまで事務室の窓口にて手書きで申請していた以下の書類について、お持ちのパソコンやスマートフォンから申請できるようになりました。

○通学時間や休み時間、自宅からでも申請ができます。
○申請ページにアクセスするには、パスワードが必要です。
○パスワードは、職員室・事務室で聞いてください。
　※パスワードは、絶対に校外の人に教えないでください。
①在学証明書　②通学証明書（定期券）　③通学証明書（駐輪場）
④ＪＲ回数券割引証　⑤一畑電鉄回数券割引証

◀申請用ページは
コチラ

申請から受取までの流れ

申請フォームから申請 → 受付完了のメールを受信 → 発行完了のメールを受信 → 事務室の窓口で受取※

※受取の際には、発行完了のメール画面と学生証を提示してください。

編｜集｜後｜記

７月７日、七夕の日にちょうどＳ９が終わりました。みなさんは七夕の短冊を書きましたか。今年は梅雨明けが早く、澄んだ星空に短冊に込めた願いも届くといいなと思います。昼間も見上げるとぬけるような青空です。熱中症には十分に気をつけつつ、夏のエネルギーを存分に取り入れて、元気に暑さを乗り越えましょう。

さて、４月当初には長い道のりと見えた前期スクーリングは７月 14 日にＳ10 を終えます。学習活動を計画的に進められた方も、思うようにいかなかった方もいらっしゃるかもしれません。ですが、宍道高校のモットーは「あせらず」「やすまず」「あきらめず」です。受験願の提出までもう一息、気持ちを切らさず、たどり着いてください。８月後半の前期試験の準備は各講座の「学習の要点」を参考に進めることになります。わからないこと、困ったこと等があれば、担任や講座担当者に早めに相談しましょう。計画的に前期試験の準備に取りかかりましょう。